



CHK はクラシカルホメオパシーの学校です

クラシカルホメオパシー京都(CHK)は、患者が立ち上げたホメオパシーの学校です。

2007年10月1日設立以来、ホメオパシーの基本を身に着けた人材育成、患者の立場に立ったホメオパシーの専門家育成することを目標にしています。

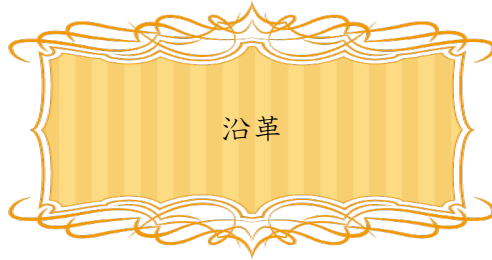
ホメオパシーの基本は、創始者 S.ハーネマンが200年ほど前に著した『オルガン』にすべてが書かれています。S.ハーネマンは、当時の医療の常識に惑わされることなく、自力で臨床での経験を確かめながら、生涯をかけて『オルガン』を5回も書き直しました。その基本姿勢は、本文のセクション1に明記してあります。

オルガン § 1 真の治療家の唯一の使命は病める人の健康を再建すること
だけである。それを治療と呼ぶ。

ホメオパシーとは、「病」をみるのではなく、「病人だ人」をみるものです。
患者はいつも願っています。「私という人間全体をみて下さい」

ホメオパスに求められるものは、「人間全体」をみるができること。
そして、同時に「病の核心(中心)」をみることです。そういう人材を育成する
ことを目標にしています。





沿革

- 2007年 10月 設立
- 2008年 1期生入学
- 2009年 初回国際セミナー:オーストリア医学会の医師ホメオパスを招聘。以来、毎年世界水準のホメオパスをお招きして来ました
- 2014年 3年制から4年制に変更、同時に教室を京都四条烏丸のCHK
四条教室に移転
- 2017年 設立10周年記念講義として、アフリカのタンザニアで、長年エイズ治療に携わって来られた世界的ホメオパス:ジェレミー・シェア先生・カミラ先生ご夫妻をお招きしました
- 2018年 ジェレミー・シェア先生が京都でダイナミス・ジャパン(3年制)を開講。CHK 常勤講師をはじめ、CHK 卒業生も受講。講義にも授業内容を反映している

※2024年3月時点(1期生～13期生まで)

クラシカルコース卒業生(修了生含む):87名



ごあいさつ

クラシカルホメオパシー京都(CHK)主宰の荻野哲也です。

私は、1994年、勤務中に突然脳卒中で倒れ、重度障害者になりました。

一旦は絶望しましたが、当時まだ働き盛りだった自分のためにも、まだ幼かった子供達のためにも何とかして社会復帰したいと、もがきました。

高度救急救命医療のお陰で生命は取り留めたものの、半身麻痺や痙攣発作という後遺症を背負ってしまった自分の心身を建て直そうと様々な病院や医師を頼り、多くの代替療法にも助けを求め、さまよい歩く日々が続きました。さまよった果てに出会ったのが、「ホメオパシー(同種療法)」でした。

常に自分に恐怖をもたらし続けた心身全体の不調が、ホメオパシーによるたった2回の個人セッションと、たった2粒だけのレメディで消え去り健康を回復しました。

必要最小限で自然な治癒をもたらす…これがホメオパシーの真髄です。

ホメオパシーは、私の痙攣発作という症状を消しただけではなく、本来持ち合わせていた自然治癒力がまともにも働くようになってくれたのです。

痙攣発作が消えた以上に精神的にも大きな変化がありました。心身両面ともにすっかり生まれかわったかのようです。

ホメオパシー(同種療法)には、単に自然治癒力をよみがえらせる以上の潜在力がある！ その感動がこれまで僕を突き動かして来ました。

クラシカルホメオパシーって？



ホメオパシーは創始者 S. ハーネマン(1755-1843)が確立した時から現在にいたるまで「ホメオパシー」であり、あえて「クラシカル」という名を冠する必要はありません。一般には「クラシカル」と「プラクティカル」というホメオパシーの「流派」が2つあることになっています。CHK では、「オルガン」 という基本にしたがう「クラシカル」を最善なものと考えています。それが安全で有効であることを20年ちかくにわたり確認してきました。

この2つのホメオパシーの相違点は…

クラシカルニレメディーを一度に一種類を必要最少利用(クラシカル)すること。
プラクティカルニレメディーを一度に多量多種同時利用することです。

CHK のめざすところ

私達が目指すところは、創始者 S. ハーネマンの精神に沿ったホメオパシーを実践すること。それは、『オルガン』の精神に沿ったものだと考えています



1. 患者の立場に立った考え方・方法であることが、最も大切です。何よりも安全でたしかな方法を最優先します。それが、CHK の目指すホメオパシーです。
2. ホメオパスの役割とは、「病んでいる人全体」をみるものであり、同時に、「病の核心」を見極めることです。「人全体」も「病の核心」もいずれも、その時には一つしかありません。その時の一つの全体に対して、一種類のレメディを選びます。それが、CHK の目指すホメオパシーです。
3. 複雑なケースでは、時には何種ものレメディーを必要とするかも知れません。それでも、都度一種類のレメディを吟味した上で一つ一つ順序立てて臨むことです。それが、CHK の目指すホメオパシーです。

大きく分けると 4つの講座・コースがあります



「はじめてのホメオパシー」 初心者向け

ホメオパシーについてほとんど何も知らない方のための初心者向けセミナーです。本などを読んだだけではわかりにくい点を丁寧に説明させていただきます。京都四条教室で定期開催中です。オンライン受講可。1日完結です。

セルフケアコース 初心者～読書や実践歴のある方向け

ご家庭で、ホメオパシーによる健康管理が実践できるレベルを目標にした講座です。「子供の問題」「怪我への対処」「風邪の時どうするか？」など、状況に応じたホメオパシーレメディの使い方を身に付けられます。自分が、自分と身の回りの人の健康維持の主役になることを目指します。京都四条教室で定期開催中です。オンライン受講も可能です。半年程度学びます。

アドバンスコース 初心者～セルフケア実践歴のある方向け

ホメオパシーをさらに深めながら、セルフケアの力を確かなものにするコースです。「セルフケアコース」より一歩進んだ少し本格的な内容になります。受講日時が、毎週金曜日の夜になります。授業のすべてはオンライン受講となります。当コースを完了後、課題提出等に応じて、クラシカルコース2年次へ編入可能です。スペシャリストへの第一歩の授業をじっくり1年間学びます。

クラシカルコース 初心者～本格的に学んでみたい方

すべてのコースの中で最も本格的に学ぶことができます。基本から順次進みますので、無理なく始められます。プロのセラピスト(ホメオパス)になる力も付けられます。毎年春スタートの4年制コースで、京都四条教室にて開講しています。リアルタイムで、オンライン(Zoom)も受講も可能。

受講形態は3つから選択できます。

- ① リアルタイムでの教室受講
- ② リアルタイムでのオンライン(Zoom)受講、
- ③ お好きな時間やご自身のペースで学べる、完全通信制
があります。

他校からの編入や、卒業生の再受講希望等幅広く専門性を高めたい方を募集しています。4年間でしっかり身に着けます。

各コースの詳細・お申し込みは是非ホームページにアクセスしてください。



クラシカルコースのご案内

1年～4年次コースまで、1年毎に修了出来ます。
4年間受講すれば、ホメオパスとして活動できるレベルになります。

クラシカルコース(通学もしくはオンライン)

京都四条教室への通学もしくは授業をリアルタイムで受講していただくことが可能です。遠方にお住まいの方でも、オンラインで、好きな場所から教室参加と同じ授業をリアルタイムで受講頂けます。オンラインの方も、理解を深めるため、出来れば、年に2回以上は、教室での受講をお勧めしております。

クラシカルコース(通信)

上記通学コースと同内容です。撮影した授業動画と資料で、学んでいただけます。ご自身のご都合の良い時に、マイペースで、学んでいただけます。専任チューターが、学習の伴走しますので、ご質問がありましたら、いつでもお尋ねください。内容によっては、クラシカルコースの講師にお尋ねいただくこ

ともできます。ただ、理解を深めるため、出来れば、年に2回以上は、教室での受講をお勧めしております。

クラシカルコース(他校からの編入)

他校のホメオパシー専門過程(3年制もしくは4年制)を履修済の方を対象に、当校で再度学び直すことで、ホメオパシーカを更に深めて頂くためのコースです。現在開講中のいずれかに、ご編入・受講して頂きます。

クラシカルコース(卒業生の再履修)

基本的に当校の卒業生を対象としています。クラシカルコースで、再度学んで頂くことで、ホメオパシーカを深めて頂くためのコースです。国際セミナー等開講中のセミナーも参加可能になりますので、非常に有意義です。

クラシカルホメオパシー京都では、学ぼう！という気持ちがあれば、いつまでも、どこまでも学ぶことができます！





クラシカルコースでは
どんなことを学ぶの？



オルガンンに基づき、ホメオパシーの基本理論を学びます

原典『オルガンン』を中心にして各年次に応じたクラシカルホメオパシー教育を行います。

マテリアメディカ(レメディ)を学びます

1年間で30個程度のレメディを体験的に学びます。

レメディ毎の特有な症状とそのクオリティ(質的なもの)を理解し、実践に役立

つよう学びます。原材料は、授業前に調べて頂いたり、実際のケースの実在人物を通じて、レメディと人の全体像がつながるように学んでゆきます。

レポーター(レメディ検索辞書)を使いこなせるように学びます

急性時でも慢性時でも、これが使えるかどうかでレメディ選びの精度は大きく異なります。将来、より高度なメソッド(方法論)を学ぶ際にもレポーターを使いこなせたら、とても助けになることでしょう。学習の早い時期から、常に手元に置いて慣れ親しんでいくように講義を構成しています。

ケースから学びます

CHK では、早い時期からケースを経験することで無理なく慣れて頂くことができます。そして、1年次から「古典的ケース」などを材料に取り入れた実践的な講義を受けていただきます。



過去の国際セミナー



2009～10年「**「元素のレメディ～周期律表から読み解く 1・2」**

オーストリア医学会の医師ホメオパスお2人を招聘。

講師 Dr. Michaela Zorzi、Dr. Erfried Pichler（オーストリア医師）

2011年「**ホメオパシーの変遷と慢性病へのアプローチ**」

日本クラシカルホメオパシー協会との共同開催（於：京都）

講師 Jo Daly（アメリカ・CHC 認定ホメオパス）

2012年「**ケースを通じてマヤズムのエネルギーを感じる**」

講師 Jo Daly（アメリカ・CHC 認定ホメオパス）

2013年「**植物レメディのファミリー（属・種）ごとの特性を学ぶ**」

講師 Jo Daly（アメリカ・CHC 認定ホメオパス）

2014年「**インド（TOS制作）ビデオセミナー**」（ホメオパシー臨床・ビデオ研修）

進行役 永澤志津子コーディネーター

2015～16年「**JUST YOU SEE」「JUST YOU SEE 2」**

講師 Dr.Sarkar（世界的に高名なインドのホメオパシー臨床医）

2017年「**ホメオパシーで世界は変わる**」

講師: Jeremy Sherr/Camilla Sherr(世界的名ホメオパスのご夫妻)

2018年「いのち・いきもの・ホメオパシー」(動物へのアプローチ)

講師: 森井啓二先生(国際ホメオパシー獣医学会日本支部代表)

2019～20年「ホメオパシーを中心にした医学心理学栄養学のチーム医療」

講師: Dr. Valerio Selva(イタリアフィレンツェで活躍するドクターホメオパス)

2021年「パンデミックに対してホメオパシーが出来ること～急性病と慢性病」

講師: Jeremy Sherr

2022年「ホメオパシーの4原則」 講師: Jeremy Sherr

2023年「健康とは?～オルガノン § 9」 講師: Jeremy Sherr

2024年「ホメオパシー・パンデミック・シェディング」 講師: Jeremy Sherr



「クラシカルコース」の学生さんインタビュー！

まず、インタビューに回答してくださったのは、秋山隆平さん(11期生)です。

普段のお仕事は何ですか？

45年ほど、ハードワークで知られる広告業界で働きました。

マーケティング、クリエイティブ、イベント、営業、ネット広告、経営などいろいろやりました。最後の十年ほどは、Google やヤフーなどと協同して、デジタル広告の仕組みを開発していました。本も何冊か書いています。現在はライターです。大手の広告代理店を退社後、色々なお誘いをいただいたのですが、まったく違うことをやることにしました。いわゆる「味ヘン」です。人生百年時代と言われますが、長い人生は大盛りラーメンのようなものです。同じ味では飽きます。



ホメオパシーを始めたきっかけは何ですか？

在職中の最後の5年の間に、2度ほど大病をしたので統合医療に興味を持ちました。日本における統合医療の第一人者である、帯津良一先生の『ホメオパシー療法』という本を読んでホメオパシーというものを知りました。ネットで調べて、京都にもホメオパシーを教えてくれる学校があることを知り、最初

は軽い気持ちで「基礎講座」に参加しました。基礎の講座の一回目の授業を受けて、大変興味深かったので、「クラシカルコース」に編入しました。現在は2年目ですが、ホメオパシーは勉強すればするほど興味が深まる不思議な世界だと思っています。

ホメオパシーは患者を部分的には観察しません。人間を精神、感情、身体
の立体的な視線で理解しようとしています。ホメオパシーを学ぶということは「人間学」を学ぶというだけでなく、「植物学」「動物学」「鉱物学」を学ぶということでもあります。そして人間と植物と動物と鉱物の間の、隠された「つながり」を発見することだと思っています。

CHKの学生生活はいかがですか？

数十年振りに学生生活を送っているわけですが、非常に楽しい、充実した時間を過ごしています。授業はアットホームでフレンドリーな雰囲気です。年代も職業も出身地も違ったクラスメートが集まっていますが、それぞれの人の意見を聞くのが楽しく、また、ためになります。ロード的には、それほどきつくありません。自然にホメオパシーの世界になじんで行けるように、上手くプログラムされていると思います。

次に回答して下さったのは、根本ちはるさん(11期生)です。

普段のお仕事は何ですか？

外資アパレルショップの販売員をしており、社会人5年目になります。ホメオパシーとは特に縁のない接客業のお仕事です(笑)このお客様はきっとこのレメディ！なんて分かればぐっと売上が上がりそうですが、分かりません。



ホメオパシーを始めたきっかけは

何ですか？

ホメオパシーという療法があると生まれて初めて知った日から、もっと詳しく知りたい！ちゃんと知りたい！！という気持ちをどうにも抑えられず、その強い思いと興味だけでCHKに通い始めました。

塗り薬を使っても一向に治る気配のない皮膚湿疹と長年付き合っており、いい加減何かいい方法はないのか〜と何気なくネットで調べた時にたまたまホメオパシーに出会いました。社会人になってからド派手に体調を崩し寝込むことが数回あり、「心と身体はつながっている。心身共に健康であることが大切だなあ。」と常々痛感していた私にとって、ホメオパシーは興味深い療法そのものでした。

ただ、今まで自然療法と縁があったわけでもなく、本で読んだ理論は一応

理解出来たもののレメディの効果を自分の身で体感したわけではなく、正直なところ半信半疑、飽きずに続けられるのか、、など、色々と不安要素が多く学校へ通うのをすごく悩みました。

ですが、その不安たちが一気に吹っ飛ぶほど授業(見学)が楽しかったんです！ホメオパシーってとても奥深く面白いんですよ！（入学後、自分の身体でレメディの威力を体感することもできました！）

今までに感じたことのなかった、楽しい！知りたい！という気持ちを大切にしたいと思い、ホメオパシーを学ぶ決意をしました。

CHKの学生生活はいかがですか？

とても充実しています！

講師の御三方の授業はアットホームな雰囲気の中に進んでいくので、分からないことは聞きやすいですし、楽しくリラックスしながら学べるのが嬉しいです。

私は東京に住んでいますが、京都まで通っています。月一のリフレッシュも兼ねてちょっぴり旅行気分でも新幹線に乗ることも楽しいので(車内で予習復習もできます！)個人的にはオススメです。

また私のいる11期は、バラエティに富んだ面々が集まっているので、皆さんから聞くお話も面白く、何気ない雑談も人生が豊かになる勉強になっています。

健康観はもちろんのこと、義務教育でも大学でも教えてもらえなかった“この世界でより良く生きていく上でとても大切なこと”をCHKで学ぶホメオパシーを通じて教わっている気がしています。



奥永進一郎さん(14期生)へのインタビューです。
ご夫婦でCHKに入学されておられます。

普段のお仕事は何ですか？

大手通信会社に5年間勤務し、天然酵母のパン職人として10年間働いた後、現在は自宅の一部を改装し夫婦でオーガニックをテーマにした店を経営しています。あとは、せっかく田舎に住んでいるので米、麦、野菜、大豆も育てながら菜園講座も開いています。また、週一日

は私立の中学校で料理の講師もしています。

ホメオパシーを始めたきっかけは何ですか？

約20年前、妻が妊娠中にホメオパシーに出会い、それから生活に取り入れていましたが、自分は言われるがままレメディをとっていただけでした。転機は、本格的にホメオパシーを学びはじめた妻の、スーパーバイズによるセッションを受け、一年間ずっと痛かった膝が、なんとレメディ5粒で治ってしまい衝撃を受けたことです。それまではホメオパシーのことを「副作用もないプラシーボでも治ればいい」なんて思っていました。しかし、考えてみたら2人の子どもたちも飼っている猫たちも一度も病院のお世話になることなく育っていたりしていました。さらに、妻が処方したレメディをとった人たちが変わっていくのを目の当たりにして「これは何かある」と興味が湧いてきました。あとは、ホメオパス同士の会話を聞いていると、知らない単語がたくさん出てきて、それなのになにすごく楽しそう

で、、夫婦間で通じないが増えてきていることにも危機感があり(笑)、基礎講座で少し勉強すれば会話が理解できると思ったのです。しかし、申し込んでみると自分の主催している講座と全て同じ日程…！それで半年間待つ、春スタートならクラシカルコースを1年間でもいいか、と入学したのが始まりです。しかし、そこからが沼の始まりで、今ではホメオパシーのおもしろさと奥深さにすっかり魅了されて、一人前のホメオパスになるべく、日々楽しく学んでいます。

CHKの学生生活はいかがですか？

学校生活は知的な刺激に満ちていて楽しいです。学校がスタートする前は月2日だけの授業では物足りないのではないか？と思っていましたが、ホメオパシーの学びは人間の営みや自然を深く観察、理解する必要があるので、仕事との兼ね合いを考えるとこれくらいのペースがちょうど良いと感じています。CHKは講師の先生たちと生徒の関係性がとてもフラットで、上から教えられるままと記憶するというよりは、ともに探究している感覚で何かを学ぶにはとても良い雰囲気です。福岡に住んでいるので、zoomでの授業参加が多いですが、教室参加だとクラスメイトや先生たちとの対話から思わぬ気づきがあったりするので、できるだけ教室参加をしたいと思っています。教室参加、おすすめです。

次は、16期生の豊増真紀子さんへのインタビューです。

普段のお仕事は何ですか？

20年以上、セラピーやヒーリングの仕事をしています。

カラーセラピーやボディサイコセラピー、シャーマニックなヒーリングやエネルギーワークなど、国内外の様々なメソッドを学びました。現在は、カバラの伝承をもとにしたイメージや夢を使ったセラピースクールを主催しています。



ホメオパシーを始めたきっかけは何ですか？

通訳をしている友人に、来日中のドイツ人のホメオパスを紹介してもらったのがホメオパシーとの最初の出会いです。彼女に「持っておくといいから」とお勧めされてレメディキットを購入しましたが、もともと体にこれといった問題がなかったこともあり、当初はほとんど使うことがありませんでした。

でも、結婚して子供が生まれた後は、出来るだけ自然派育児をしたい私にとってレメディは子どもが体調を崩すたびに助けてくれる素晴らしいサポーターとなり、今や我が家には必須の「救急箱」となっています。

家族のケアにレメディを使っているうちに、もう少しホメオパシーについて詳しく知りたいと思い、本を見たり、いくつか初心者向けの講座を受けてみましたが、たくさんの情報で頭がいっぱいになるばかりでなかなか自分の中に上手く落と

し込むことが出来ずにいたのですが、ある日、友人から、「CHKの先生が教える『基本講座』は絶対に楽しいから！」と友人に誘われて受講したところ、これが思った以上に楽しかったのです！

講座では、一つひとつのレメディを、まるで個性あふれる新しい友人を紹介されるように説明され、それについて自分がどう思うか、感じるかをシェアしていくスタイルで、普段、自分がイメージや夢のワークを教える方法ととても近いこともあってか、あっという間にワクワクした気持ちになり、楽しみながら各レメディを理解することができました。

「クラシカルコース」への参加は、ちょうど仕事が忙しくなった時期でスケジュール的に不安があったので、かなり悩みましたが、基礎講座で楽しさと自分の中から湧き上がってくるワクワク感に後押しされて、申し込んでしまいました。笑

CHKの学生生活はいかがですか？

とても楽しいです！アットホームな雰囲気の中、リラックスして学んでいます。講師の先生方がとてもオープンで、ご自身の体験なども真っ直ぐに話されるので、私たちも自分自身のことをより深いレベルまで安心してシェア出来るように思います。

クラスメイトのバックグラウンドも様々で、講座の中で他の方がされる鋭い質問や自分とは異なる視点や意見にハッとさせられることがあり、とても良い刺激になっています。

講師の先生方もですが、参加者の皆さんも個性豊かでとても魅力的な方ばかりで、これからホメオパシーを通して、皆さんと更に深く知り合えるのかと思うとワクワクした気持ちでいっぱいになります。

講師紹介



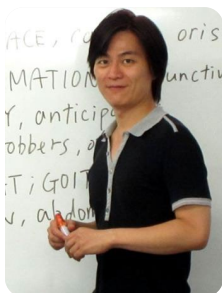
萩野 哲也

クラシカルホメオパシー京都主宰 ホメオパス

京都大学卒業。1994年、出張中に脳卒中で倒れる。現代医学に限界を感じた後、様々な代替療法を経験する中でホメオパシーに出会う。患者の立場に立ったホメオパスであることを目指してきた。

2004年ホメオパシースクールを卒業。その間、Misha Norland、Jeremy Sherr、David Mundy、Murry Feldmanら多くの実力あるホメオパスからの学びを深めながら、関西でのホメオパシーの普及啓蒙に努めてきた。クライアントと共にゆっくりだが着実に歩むような「良きホメオパス」であることを一貫した目標に定めている。

最近のクラシカルコースの授業では、ケース分析やケースマネージメントを担当し、「その人の何が癒されるべきか？」という病の核心をどうとらえるかについて、誰もが実践できる方法を模索中。次第にシンプルで深みを増しつつある。



野村 潤平 クラシカルホメオパシー京都主任講師 ホメオパス

学生時代は探検部に所属。芝居や畑もする。内戦中のアフガニスタンを訪れた経験から海外の紛争地医療を志し、東大病院の集中治療室・救急看護師となる。大学在学中にルドルフ・シュタイナーの世界観やシュタイナー医療(ホメオパシー)に強い関心を持ち、ホメオパスになることを決心。ホメオパシースクールを卒業後、2004

年よりホメオパスとなる。これまでに 2000 件以上のセッションを経験。

2008 年からクラシカルホメオパシー京都にて講師を担当。主にオルガノンの講義と、卒業生のケース分析(土曜ケース検討会)を担当している。

趣味は旅行、古典文学、芸術鑑賞。京都在住。四児の父。



荻野 千恵美 クラシカルホメオパシー京都講師 ホメオパス

武庫川女子大学卒業。元小学校教師。夫と娘の病気を期に人生と健康の意味について深く考える機会を得る。気圧療法士の資格を取得しセラピストとして活動。その後大阪のホメオパシースクールでホメオパシーを学び始め、2007 年 9 月卒業。卒業後は、Misha Norland、Jeremy Sherr、David Mundy、Murry Feldman、Rajan Sankaran、Jo Dalyら多くの実力あるホメオパスからの学びを深めてき

た。クラシカルコースでは、主にマテリアメディカの授業を担当。古典的なマテリアメディカやオルガノンの中にはホメオパシーの果てしなく広く深い世界があり、生徒さんやクライアントさん達の内面にも果てしなく広く深い世界がある。これら二つの世界に繋がりを見つけた時の深い感動。それを生徒さんに伝えられたらと願って来た。

弊 HP の連載「レメディの使い方 ABC」は、2014 年 12 月、冊子にまとめた。



中村 裕恵 CHK 解剖生理病理症候学講師 医師ホメオパス

東京女子医大卒。同付属病院消化器内科等を経て、都内診療所に勤務。

平行してホメオパシー、フラワーエッセンス、ハーブ、アロマセラピー、中医学等を研修、統合医療ビレッジ内クリニック院長を経て、現在「氣メディスン研究所 Be oneself トータルヒーリングセンター」にて活動中。

「ホメオパシーセルフケア BOOK」、「ホメオパシーバイブル」など著作・監修。日本内科学会認定内科専門医、日本消化器学会専門医、British Institute of Homoeopathy Diploma 取得、Faculty of Homoeopathy 会員他。



服部 優希 CHK 非常勤講師 ホメオパス

ホメオパシーコンサルティング Kyoto 代表取締役

京都の伝統工芸にたずさわる老舗に生まれ、NY生活を経てホメオパシーに出会い、それまでの概念をくつがえすホメオパシーの癒しの体系と、それによってもたらされる息を呑むような深くクリアな癒しに魅了される。以来、日本・イギリスで学び、その間、ミッシャ・ノーランド、ラジャン・サンカラン、キム・エリアら、世界の一流

ホメオパスに師事し、精度の高いホメオパシーの技術を習得。2011年、ホメオパシーコンサルティング Kyoto を設立。現在、京都と東京白金台でコンサルティングを行う。

野口 綾子 CHK 非常勤講師

ホメオパス

歯科衛生士として歯科医院勤務、行政や学校の健診、歯科保健指導の仕事に関わる。自身の不調をきっかけに、人や自然に優しく、体や心、その人の本質に向き合える療法を探看中、ホメオパシーと出会う。2013年にCHK入学。在学中、同期と研修のためインドコルカタに行く。Jeremy Sherr、Dr.Rajan Sankaran、Dr.Suniml Sarkarら世界で活躍するホメオパスから学びを得る。2022年Jeremy SherrのDynamis school卒業。CHK在学中は、ホメオパシーを誰にでもわかりやすく楽しく伝えたいという思いから、劇団プルサティラを立ち上げ、ホメオパシー寸劇を愛知、京都、熊本、金沢で行い、好評を得る。現在も地元愛知県知多半島を中心にホメオパシーセッション、講座を開催。講座受講後も受講者が集まり学んでいただける場、ホメオパシーコミュニティ作りを目指して活動中。



松本 美紀 CHK 非常勤講師 ホメオパス



あん摩マッサージ指圧師として、女性を中心に治療を行う中、養生法やお手当など自然療法の指導も始める。自身の妊娠出産を機に、赤ちゃん・こども・周産期ケアの道に入る。アメリカのサンタフェで自宅出産した際の助産師がホメオパスでもあり、ホメオパシーによる小児・周産期ケアの素晴らしさと出逢う。

Prof. George Vithoukas、Dr. Sunirmal Sarkarら国際的に活躍するホメオパスより研鑽を積む。小児・周産期ホメオパス。発達プログラム認定トレーナー。

宮田 智加子 CHK 非常勤講師 ホメオパス

California College of Arts 卒業後、美術作家として活動中にホメオパシーに出会う。東京のホメオパシースクールを経て CHK に編入し、9 期生として 2020 年に卒業。Jeremy Sherr、David Mundy、Rajan Sankaran、Saptarshi Banerjea など世界的ホメオパスから多くの学びを得る。その後、ホメオパスとして講座やセッションを中心に現在活動中。また生徒さんの学習用に 166 個のレメディについての本を製



作した。CHK ではレメディ学習を担当し、レメディの材料となる物質の特徴と人間の病との関係性を、深くそして楽しく理解できる授業を心がけている。

みや まどか CHK 非常勤講師 ホメオパス



ホメオパシーによって体調不良が改善され自分自身の大きな変化に感動し CHK に 7 期生として入学。卒業後 Dynamis Japan 修了。Jeremy Sherr、Sunirmal Sarkar、Rajan Sankaran より研鑽を積む。現在は主に個別セッションの他、オンラインでのホメオパシー入門講座や 42 種の基本レメディを学ぶセルフケア連続講座を随時開催。楽しく丁寧な授業が好評を博す。大の動物好きで特技はアニマルコミュニケーション。動物のホメオパシー相談も数多く応じている。CHK ではケース学習とレメディ学習を担当し、ホメオパシーの可能性と魅力を存分に感じられる授業を提供している。

はじめてのホメオパシー・セルフケアコース

募集人員	10名募集(開講は春・秋の2回あります)
受講料	初回:4,500円 2回~6回:5,500円/回 ※6回分一括お支払いの場合は、30,000円になります。
授業日時	毎月1度 木曜日午前コース土曜日午後コース 木曜日 10:00~13:00 土曜日 10:00~13:00

※初回が「はじめてのホメオパシー講座」になります

アドバンスコース

募集人員	15名募集 ※最少催行人数5名・オンラインのみ
受講料	260,000円(税別)
書籍代	35,000円(税別)
授業日時	毎週金曜日 20時半~22時半(月4回)
就学期間	1年間

クラシカルコース(通学・オンライン・通信)

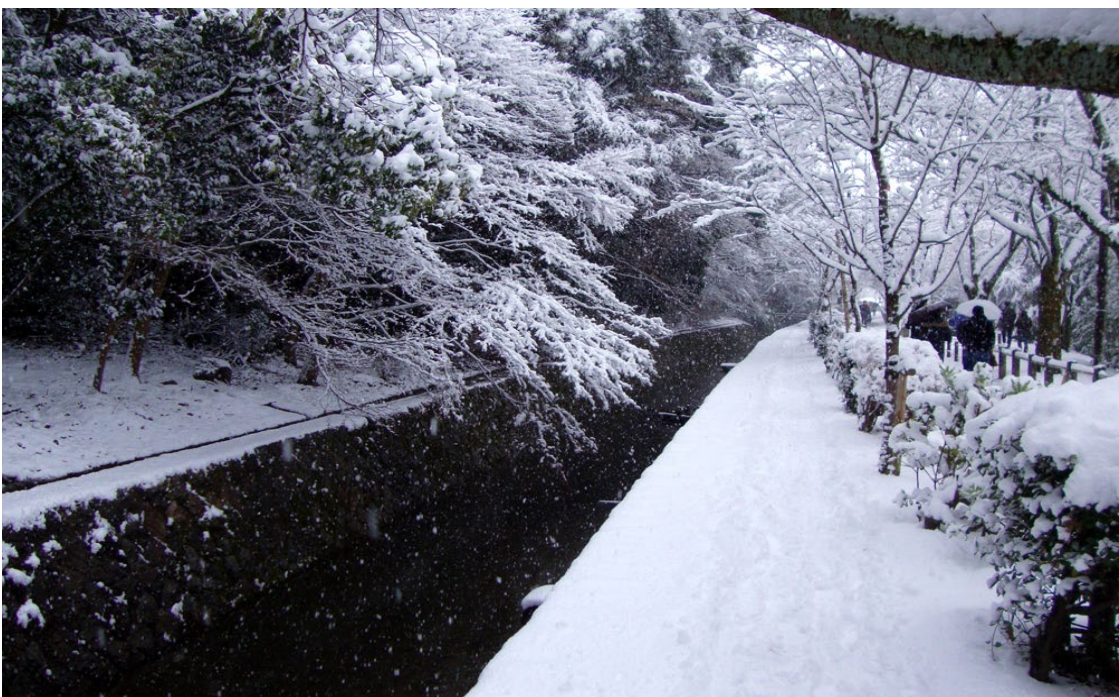
募集人員	通学 20 名 / オンライン 10 名 / 通信 5 名 合計 35 名募集
募集期間	毎年 11 月初旬～翌年 7 月末頃
開講	1 年次開講: 例年 4 月第 4 週～ 予定
就学期間	1～4 年間 ※各コース毎(1 年毎)に修了することも可
授業日時	毎月 1 度の週末(土曜日と日曜日) 土曜日: 13:00～19:00 日曜日: 10:00～17:30
講義日数・時間	年間講義日数: 22 日以上 1 年間講義時間: 130 時間以上 4 年間全講義時間: 520 時間以上 (毎年、解剖・生理・病理学講義 2 日間 / 年を含む)

入学金	50,000 円(税別) 全コースとも	
書籍代	35,000 円(税別) 全コースとも	
1 年次	260,000 円(税別)	全コースとも、年に 2 回の病理症候学受講料を含む ※2026 年度以降、価格改定を予定しています。
2 年次	360,000 円(税別)	
3 年次	460,000 円(税別)	
4 年次	560,000 円(税別)	
その他 必要費用	・ PC レパードリーソフト: 50,000～300,000 円(3 年次以上の希望者のみ。為替による)	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考書籍代の目安: 毎年 10,000 円～20,000 円程度 ・ ケース実習のための個別指導料(スーパーバイズ料): 1 ケース 20,000 円(6 件まで。7 件目から 10,000 円。3 年次以上の希望者 / 卒業資格はケース実習が 6 ケース以上が必要になります)
--	--

クラシカルコース(編入及びCHK卒業生の再履修コース)

募集人員	定員: 各年次 3 名まで
受講料	他校卒業・修了生: クラシカルコース授業料の半額。 CHK 卒業・修了生: 66,000 円(税込) 基本テキスト代
授業日時	毎月1度 各コースに準じる



お問い合わせ先

<https://www.chk-homeopathy.jp/>

info@chk-homeopathy.jp

https://www.instagram.com/classicalhomeopathy_kyoto/

〒600-8431 京都市下京区善長寺町 143 マスギビル 302

クラシカルホメオパシー京都

